

令和7年度 富士中の生活① ～服装編パートⅠ～ ☆上品で教養高い富士中の実現のために…

○ブレザー

- ・校章を左襟元のボタンホールに付ける
- ・校内での着脱は特に制限はしない。

○シャツ

- ・長袖か半袖の白いシャツ(ボタンや糸も含む)を着用する。
- ・ステッチや織り柄、刺繍のあるものは不可
- ・第1ボタンは外してもよい。

○中の肌着：必ず着用すること

- ・色や柄がシャツに透けない。
- ・襟元やそでから出ない。

○ネクタイ(規定のもの)

- ・日常の着用は各自で判断する。

○ポロシャツ

- ・色は白、紺、黒とし、えりのある無地のもの。
- ・ステッチや織り柄、刺繍のあるものは不可。
- ・ワンポイントは不可
- ・第1ボタンは外してもよい。
- ・ポロシャツのすそは、出してもOK。
→長すぎる場合はボトムスの中に入れる。
- ・すそを出す場合や白いポロシャツは、中に肌着を着用する。

○スラックス：必ずベルトを着用

- ・すそを引きずらない。
- ・ベルトはベルト通しに通る幅のもので、黒の無地のものを着用する。

○スカート：必要に応じてベルトを着用

- ・スカートの丈は膝が隠れる長さにする。
→長くしたり短くしたりしない。
- ・必要に応じて紺のベルトを着用する。

○靴

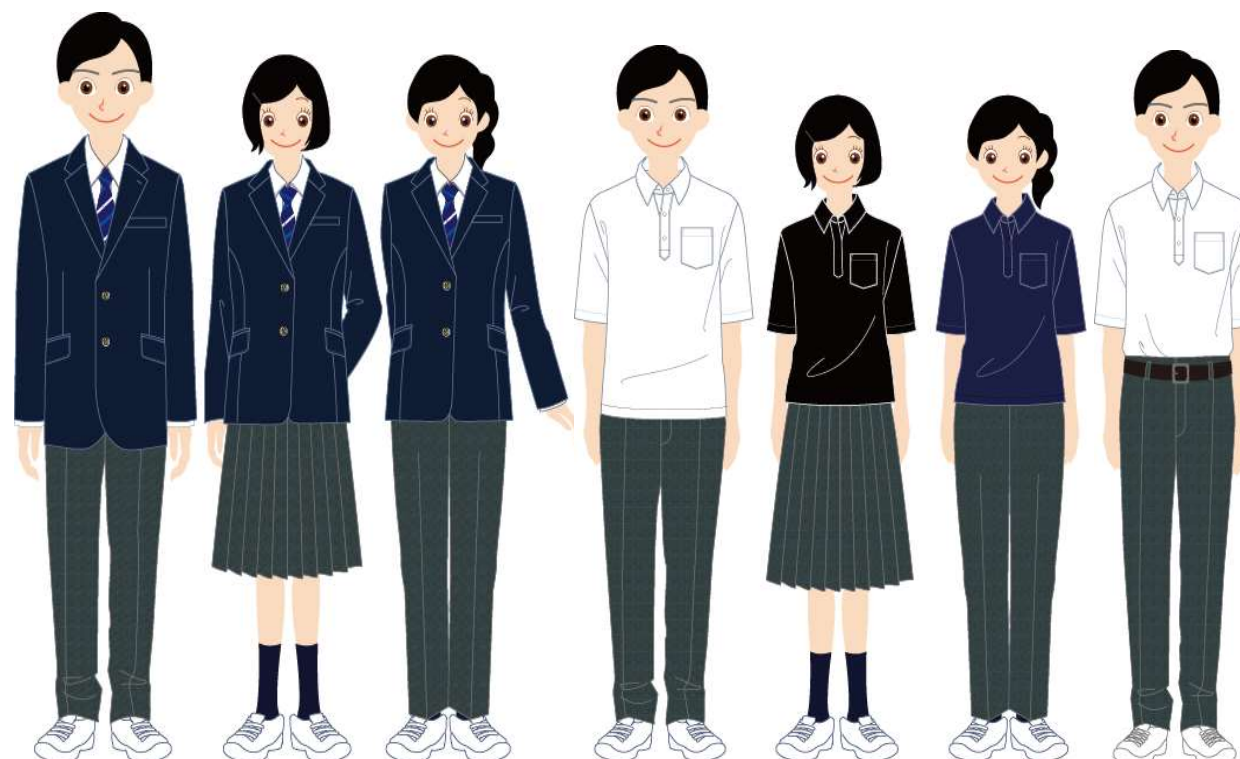
- ・白、黒、グレーで、柄の付いていないのものを着用。
- ・運動に適した靴を着用。
- ・ひも靴以外のものや、くるぶしが隠れるものは不可。
- ・ロゴやソールの色は問わない。

○靴下

- ・白、黒、グレーの靴下を着用。
- ・長さは、くるぶしが完全に隠れる長さからひざ下までのものを着用。
- ・生徒証明証の大きさに収まるワンポイントがあってもよい。→片方の足につき2つまで
- ・ワンポイントの色、柄は問わない。
- ・ラインやリボンは不可。

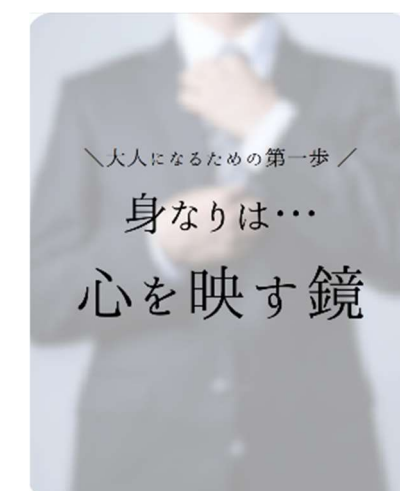
○上履き

- ・上履きは指定の上履きとする。



☆ 式日の服装について
始業式、入学式、対面式、終業式、卒業式、修了式、学級写真、合唱祭
・以下の式日はブレザー、シャツ、ネクタイ、名札、バッジを着用する。

※ 1学期終業式、2学期始業式は、体操服かポロシャツでもOK。
ノーネクタイでもOK。



【補足】

- ・日常の学校生活の夏服、冬服の着用については、特に規定は設けない。体感温度や気候に合わせて、各自が判断してそれぞれの着こなしのきまりを守って制服を着用する。
- ・7～9月の酷暑期は体操服登校を認める。(エアコンなどで寒い場合は教室のみ長袖のジャージを羽織ってもよい。)

令和7年度 富士中の生活① ～服装編パートII～ ☆上品で教養高い富士中の実現のために…

防寒具について（特に着用期間のきまりはありません）

○タイツ

- ・うすだいいい色または、黒色のものを着用。→体育ではタイツを脱いで靴下を着用。

○マフラー、ネックウォーマー、手袋、耳あて

- ・高価でなく、華美でないものを着用。
- ・ストールは不可。缶バッジ、ボンボン、飾りは不可。
- ・校内では使用しない。

○セーター、ベスト、カーディガン

- ・シャツの上に羽織ること。
- ・色は黒、紺、茶、グレー、ベージュ、クリーム色、白とする。
- ・そでは、手のひらが隠れない長さとする。すそは、ブレザーから出ない長さとする。
- ・ハイネックやタートルネックのものは不可。フードやデザイン性の編み方のものは不可。
- ・生徒証明証の大きさに収まるワンポイントが1つまでであってもよい。ワンポイントの色は問わないこととする。

○コート

- ・トッパコート、Pコート、ダッフルコート、ダウンジャケットの4種類のみとする。
- ・色は濃紺、黒、グレーとする。コートは無地のものを着用する。
→ダウンジャケットは、15 cm×10 cmの大きさに収まるワンポイントが2つまでであってもよい。ワンポイントの色は問わない。フードの有無は問わない。
- ・丈はおしりが隠れる程度を目安とする。フードの有無は問わない。
- ・必ず記名をし、校舎内では使用しない。各自のロッカーやカバンの中で管理をする。

○その他

- ・カイロについては、腰やお腹に貼ったりするタイプのものは可。ポケットに入れておくのも可であるが、教室、廊下等で外に見せて使用するのは不可。
- ・登下校の際のコート、マフラー、ネックウォーマー、耳あて、手袋は教室にて着脱する。

防寒具のマナー

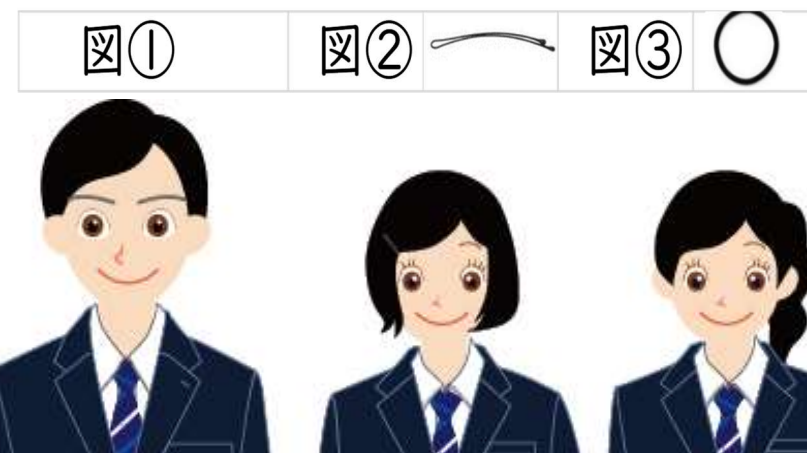
防寒着は寒さをしのぐために着用するものですから、建物の中に入る前に脱いで畳んで手に持って訪問し、帰るときも、建物の外に出てから着用するのがマナーです。

これは、日本では家の中で靴を脱いで暮らしているため、室内に外のほこいを持ち込まないという、気配りから生まれたものだといわれています。

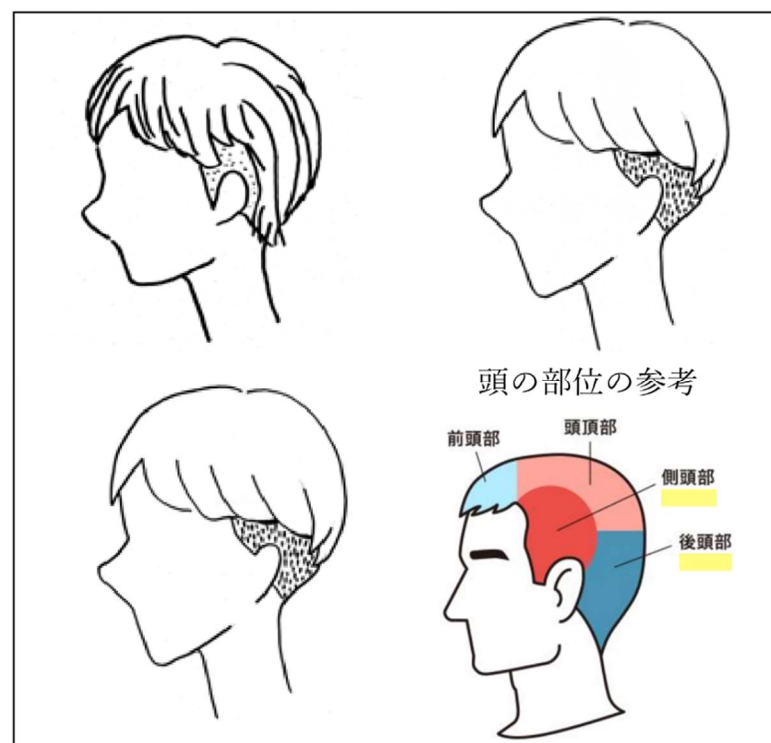
令和7年度 富士中の生活② ～髪型編～ ☆上品で教養高い富士中の実現のために…

○ 頭髪について (原則 “奇抜な頭髪は避ける”)

- ・ 前髪は目にかからない長さにする。
 - ・ 図①のように、耳を隠さず襟に掛からないさっぱりした長さにする。
 - ・ 図②のように、目にかかる長さの場合はヘアピンでとめる。
 - ・ 図③のように、襟に掛かる長さより長く伸ばす場合は、1つか2つに黒又は紺・茶のゴムで束ね、飾り縛りはしない。
(お団子は可)
 - ・ 図④のように、耳周りや後頭部をすっきりした髪の長さにしてもよい。
 - ・ リボンや色・飾りのついたヘアピンなどの装飾品をつけない。
 - ・ 髪を染めたり、整髪料を付けたり、くせをつけたりしない。
- ※ 上記の頭髪のきまりは、おしゃれを目的としたものではない。
- ※ その他特段の事情がある場合は、個別に相談する。
- ※ プールの授業後の髪型の指導についてプールの授業後1時間は髪が乾くことを旨として、髪を結ばなくてもよい。



図④ ○耳周りや後頭部をすっきりとした長さの例



× 奇抜な髪型の例



※ 髪の結び方(お団子の場合)

図1 正面から見て お団子が見えてしまう	図2 崩れたお団子	図3 お団子を作る場所は 矢印の範囲が望ましい
×	×	○

令和7年度 富士中の生活③ ～持ち物・その他編～ ☆上品で教養高い富士中の実現のために…

- カバン

 - ・メインバッグは黒・紺・グレーを基調としたリュックサックを使用し、華美なものは避ける。
 - ・メインバッグにのみ、生徒証明証の大きさを目安とした、目印となるキーホルダーなどの装飾品を1つ付けてもよい。
 - ・サブバッグは、スポーツバッグもしくは肩掛けカバンとし、用具がメインバッグに入りきらないときのみ使用する。装飾品は付けない。

※ 紙袋やビニール袋（ショップ袋）をサブバッグとすることは認めない。

※ サブバッグのみで登校しない。

※ 弁当のみが入っている小さなバック（色、形問わない）や紙袋は認める。

※ 水泳の授業期間は、水泳用具のみ入ったバッグ（水泳カバンとして市販されているようなもの）の使用を認める。
- その他の持ち物について

 - ・生徒証明証・ハンカチ・ティッシュは常に身に付けておく。
 - ・登校途中にコンビニ等で昼ご飯を買って登校することを禁じる。やむを得ず、コンビニ等で買って持ってくる場合は、前日に準備するか、登校前に準備をする。また、買ってきてよいものは、おにぎり、惣菜パンなどとする。菓子と思われるもの等は不可。
 - ・水筒にお茶・スポーツドリンクを入れて持参してもよい。また、ペットボトル（缶のペットボトルは不可）を水筒として使用してもよい。購入したお茶、ミネラルウォーター、またはスポーツドリンクでも可。ただし、登下校中に購入してはならない。（事前に購入し、用意しておくこと）
 - ・マスクを着用する場合には、華美な手作りマスクは避ける。マスクに落書き等はしない。
 - ・学年で指定されたものや教科から指定されたものは学校に置いていってもよい。それ以外の学習用具等は毎日持ち帰る。
 - ・体操服や部活動の用具はたとえ未使用であっても必ず毎日持ち帰る。
 - ・日焼け止め・ひび割れ防止のリップクリーム・ハンドクリームについては、無着色、無香料のものとし、人前では使用しない。
 - ・制汗シート・制汗剤を使用しても良い。（スプレーは不可。）ただし、ゴミは必ず各自が持ち帰ること。無香料のものとし、人前では使用しない。
 - ・ひざ掛けを使用してもよい。ただし、各自のカバンやロッカーの中で管理すること。使用する場面は教室内での授業中のみとする。
 - ・電子辞書、携帯電話・スマートフォン・私物のタブレット端末・腕時計・マンガ本・雑誌類・写真・お菓子・プリクラ・不要なお金等、学校生活に必要なものではないものは持ってこない。

☆ 学校指定用品の取り扱い

大蔵屋	中区錦三丁目14-15	TEL	971-1508
ナゴヤ学生服	北区清水四丁目6-18	TEL	915-9707

